



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ 上場取引所 東
 コード番号 2180 URL http://www.ssu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 久貝 真次 TEL 03-6894-3233
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関・個人投資家向け

百万円未満切捨て

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績（平成25年7月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	6,642	△8.5	52	△90.2	99	△82.8	8	△97.6
25年6月期第2四半期	7,257	53.8	539	152.5	574	161.4	370	105.0

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 △88百万円 (-%) 25年6月期第2四半期 400百万円 (123.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	2.52	2.43
25年6月期第2四半期	107.93	104.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第2四半期	4,988	1,880	36.7
25年6月期	4,751	1,949	38.4

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 1,829百万円 25年6月期 1,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年6月期の連結業績予想（平成25年7月1日～平成26年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,974	△8.0	84	△80.8	133	△76.0	14	△95.8	4.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）-、除外 1社（社名）WIST INTERNATIONAL LTD
 （注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）重要な子会社の異動の概要」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
 （注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年6月期2Q	3,539,200株	25年6月期	3,534,400株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	74株	25年6月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年6月期2Q	3,536,753株	25年6月期2Q	3,430,183株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループは、「創造型PR商社」への事業構造転換を掲げた中期経営計画の最終年度として、既存受託ビジネスによる成長のみならず更なるグループの進化を目指し、これまでにない事業創造に集中的に取り組んでおります。期首に新設した事業創造の専任部署へ人的投資を積極的にシフトさせ、新たな収益源の開発に注力しており、現在はまさにその投資段階であります。

当社グループを取り巻く外部環境の変化としまして、2020年夏季東京五輪の開催決定が挙げられ、これはグループの成長に大きく寄与する機会であり、現在は、スポーツ事業の成長に向けた営業活動並びに五輪に関わる新規事業創造への取り組みを強化しております。コミュニケーション事業においては、既存クライアントによる大型キャンペーンの実施有無により業績は影響を受けるものの、新規案件の引き合いは増加しており順調に推移しております。

なお、SP・MD事業における販促物等の調達拠点として成長を遂げてきたWIST INTERNATIONAL LIMITEDは、急速に高騰する中国国内の人件費上昇等への迅速な対応策として平成25年11月に出資持分を譲渡し、連結子会社から除外されております。

その結果、売上高6,642百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益52百万円（同90.2%減）、経常利益99百万円（同82.8%減）、四半期純利益は8百万円（同97.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①コミュニケーション事業

ソーシャルメディアを活用した案件の受注数が好調に推移し、また、成長部門である当該2領域（店頭及びデジタル）を包括的にカバーし付加価値の高いサービスを提供すべく、O2O（オンライン・トゥー・オフライン）への本格的な注力を開始しております。新規案件の引き合いは増加し順調に推移しているものの、前年同期間に受注した大型販促案件が実施されなかったことから前年同期比では減収となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,687百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

②スポーツ事業

現在のスポーツ事業の指針として、肖像権を中心とする従来型の「アスリートマネジメント」領域だけでなく、当社グループのPRやコンテンツ開発といった事業ノウハウやこれまで構築した国内外のネットワークを活かしてスポーツに関する様々なビジネスを行う「スポーツプロモーション」領域に積極的にリソースを投下しており、事業構造のシフトを図っております。当連結会計年度においては、ソチ五輪やサッカーワールドカップに関連する案件が増加しているものの、2020年開催の東京五輪に向けた営業活動の強化途中の結果として、当第2四半期連結累計期間の売上高は、403百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

③開発事業

当社グループの開発事業は、グループ独自の事業を創造することを主とした事業を行っております。前連結会計年度に設立した株式会社クムナムエンターテインメントは、アジアを中心にした国内外の著名人のキャスティングを軸に民放テレビ局の番組制作やCM制作など幅広く業務を受託するなど飛躍的に成長を遂げており、当第2四半期連結累計期間の売上高は948百万円（前年同期は52百万円）となりました。

④SP・MD事業

外食企業のグローバル展開、大手小売及び情報通信関連企業の大型キャンペーン等、既存クライアントの大型販促の受注が順調に進みました。一方、中国における人件費高騰等の影響により新たな調達先の開拓を行うなど、利益率改善に向けた事業体制の再構築に取り組んでおります。平成25年11月に持分譲渡を実施したWIST INTERNATIONAL LIMITEDは連結子会社から除外されており、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,442百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

⑤bills事業

当社所属スペシャリスト、ビル・グレンジャー（Bill Granger）を活用した七里ヶ浜、横浜赤レンガ倉庫、お台場、表参道でのレストラン「bills」の運営を行っており、店舗PR・ブランディングを推進している成果として、国内全店舗は今なお成長を遂げております。グローバル展開を加速させるべく、現在はハワイ店舗の開店準備に注力するとともに、その他海外地域における出店計画も並行して進めております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,160百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、4,988百万円（前連結会計年度末より237百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が3,027百万円（同74百万円増）、固定資産が1,960百万円（同162百万円増）であります。また、負債合計は、3,108百万円（同306百万円増）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が2,549百万円（同340百万円増）、固定負債が558百万円（同33百万円減）であります。純資産合計は、1,880百万円（同69百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、705百万円（前連結会計年度末より169百万円減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により支出した資金は405百万円（前年同期は680百万円の収入）となりました。主な要因としましては、売上債権の増加額314百万円、仕入債務の増加額194百万円、棚卸資産の増加額164百万円、為替差益40百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により支出した資金は264百万円（前年同期は195百万円の支出）となりました。これは、billsハワイ店の開店における取得を含む有形固定資産の取得による支出147百万円、連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の譲渡による支出108百万円が主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により獲得した資金は486百万円（前年同期は93百万円の支出）となりました。これは、短期借入金の純増額382百万円、長期借入れによる収入150百万円、長期借入金の返済による支出78百万円、少数株主からの払い込みによる収入109百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想の修正につきましては、平成26年2月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。今後、当該連結業績予想に修正のある場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、WIST INTERNATIONAL LIMITEDの出資持分を譲渡したため、連結の範囲より除外しております。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、韓国に当社の100%子会社としてSUNNY SIDE UP KOREA INCを新たに設立したため連結の範囲に含め、WIST INTERNATIONAL LIMITEDの出資持分の譲渡に伴い同社の100%子会社であるWIST PLASTIC TOYS CO, LTDを連結の範囲より除外しております。

また、当第2四半期連結累計期間において当社の子会社である株式会社ワイズインテグレーションが共同出資したSPARK株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	875,061	705,740
受取手形及び売掛金	1,497,323	1,564,281
商品及び製品	36,841	62,371
未成業務支出金	192,266	324,063
原材料及び貯蔵品	10,735	17,878
その他	341,860	354,322
貸倒引当金	△803	△1,032
流動資産合計	2,953,286	3,027,625
固定資産		
有形固定資産		
土地	520,818	520,818
その他(純額)	849,518	969,823
有形固定資産合計	1,370,336	1,490,642
無形固定資産		
のれん	11,873	—
その他	16,625	11,833
無形固定資産合計	28,499	11,833
投資その他の資産		
その他	428,456	487,519
貸倒引当金	△29,504	△29,504
投資その他の資産合計	398,952	458,015
固定資産合計	1,797,788	1,960,490
資産合計	4,751,074	4,988,116
負債の部		
流動負債		
買掛金	759,647	862,204
短期借入金	587,247	970,014
1年内返済予定の長期借入金	195,209	294,641
未払法人税等	126,239	114,195
役員賞与引当金	11,000	—
資産除去債務	4,580	—
その他	525,741	308,850
流動負債合計	2,209,665	2,549,906
固定負債		
長期借入金	390,648	362,808
資産除去債務	49,344	49,836
その他	152,131	145,524
固定負債合計	592,124	558,169
負債合計	2,801,790	3,108,076

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,993	452,744
資本剰余金	512,593	513,344
利益剰余金	835,195	858,100
自己株式	—	△106
株主資本合計	1,799,782	1,824,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,039	2,781
為替換算調整勘定	21,102	2,676
その他の包括利益累計額合計	23,141	5,457
少数株主持分	126,360	50,498
純資産合計	1,949,284	1,880,039
負債純資産合計	4,751,074	4,988,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,257,900	6,642,596
売上原価	6,163,457	5,906,298
売上総利益	1,094,443	736,298
販売費及び一般管理費	554,840	683,486
営業利益	539,602	52,811
営業外収益		
受取利息	58	249
受取配当金	129	265
為替差益	32,082	39,248
受取家賃	19,418	19,308
その他	8,791	5,733
営業外収益合計	60,480	64,806
営業外費用		
支払利息	8,514	7,254
持分法による投資損失	564	1,661
賃貸費用	9,463	8,850
その他	7,177	791
営業外費用合計	25,718	18,557
経常利益	574,364	99,060
特別損失		
減損損失	32,009	10,593
関係会社出資金譲渡損	—	31,846
特別損失合計	32,009	42,440
税金等調整前四半期純利益	542,355	56,620
法人税等	151,666	117,427
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	390,688	△60,807
少数株主利益又は少数株主損失(△)	20,443	△69,744
四半期純利益	370,245	8,937

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	390,688	△60,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	741
為替換算調整勘定	10,158	△28,632
その他の包括利益合計	10,157	△27,890
四半期包括利益	400,846	△88,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375,053	△2,406
少数株主に係る四半期包括利益	25,792	△86,291

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	542,355	56,620
減価償却費	52,517	46,966
減損損失	32,009	10,593
のれん償却額	1,922	1,190
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,488	228
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,500	△11,000
受取利息及び受取配当金	△188	△514
支払利息	8,514	7,254
為替差損益 (△は益)	△53,447	△40,663
持分法による投資損益 (△は益)	564	1,661
関係会社出資金譲渡損益 (△は益)	—	31,846
売上債権の増減額 (△は増加)	△167,377	△314,213
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△87,613	△164,413
前渡金の増減額 (△は増加)	191,266	△4,815
その他の資産の増減額 (△は増加)	△30,754	△61,863
仕入債務の増減額 (△は減少)	357,213	194,359
未払金の増減額 (△は減少)	△12,399	△2,676
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,556	△27,330
前受金の増減額 (△は減少)	△41,841	78,804
その他の負債の増減額 (△は減少)	△35,086	△103,498
小計	739,223	△301,461
利息及び配当金の受取額	141	255
利息の支払額	△7,312	△5,428
法人税等の支払額	△51,677	△105,777
法人税等の還付額	23	6,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	680,398	△405,587
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△168,712	△147,302
無形固定資産の取得による支出	△340	—
投資有価証券の取得による支出	—	△9,000
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の譲渡による支出	—	△108,187
関係会社株式の取得による支出	—	△3,000
貸付けによる支出	—	△400
敷金及び保証金の差入による支出	△32,012	△10,286
敷金及び保証金の回収による収入	1,088	14,936
その他	4,566	△794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,410	△264,034
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△290,342	382,767
長期借入れによる収入	347,300	150,000
長期借入金の返済による支出	△156,549	△78,408
株式の発行による収入	3,003	1,502
自己株式の取得による支出	—	△106
少数株主からの払込みによる収入	38,095	109,434
配当金の支払額	△25,445	△69,463
リース債務の返済による支出	△9,532	△9,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,471	486,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,140	14,190
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	440,658	△169,321
現金及び現金同等物の期首残高	849,452	875,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,290,111	705,740

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コミュニケーション事業	スポーツ 事業	開発 事業	S P・MD 事業	bills 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,974,033	488,477	52,467	3,629,161	1,113,760	7,257,900	—	7,257,900
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	231	—	376	142,723	1,235	144,567	△144,567	—
計	1,974,265	488,477	52,844	3,771,885	1,114,995	7,402,468	△144,567	7,257,900
セグメント利益 又は損失(△)	350,385	55,307	△22,625	240,904	105,214	729,186	△189,584	539,602

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	3,148
全社費用(注)	△192,732
合計	△189,584

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「コミュニケーション事業」セグメントにおいて、東京ソラマチに出店しておりました、「ブースター・カフェ・レント・ア・バイシクル・バイ・スコット」を平成25年6月までに閉店することといたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては32,009千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年7月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コミュニケー ション事業	スポーツ 事業	開発 事業	S P・MD 事業	bills 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,687,755	403,732	948,725	2,442,114	1,160,268	6,642,596	—	6,642,596
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,406	1,300	—	20,152	968	24,827	△24,827	—
計	1,690,162	405,032	948,725	2,462,266	1,161,237	6,667,423	△24,827	6,642,596
セグメント利益 又は損失 (△)	255,102	47,516	84,477	△117,533	13,085	282,648	△229,836	52,811

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	9,346
全社費用 (注)	△239,183
合計	△229,836

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

S P・MD事業において、WIST INTERNATIONAL LIMITEDにおける事業環境及び業績等を勘案して回収可能額を評価した結果、第1四半期連結会計期間末におけるのれん未償却残高の全額を減損損失(10,593千円)として特別損失に計上いたしました。